

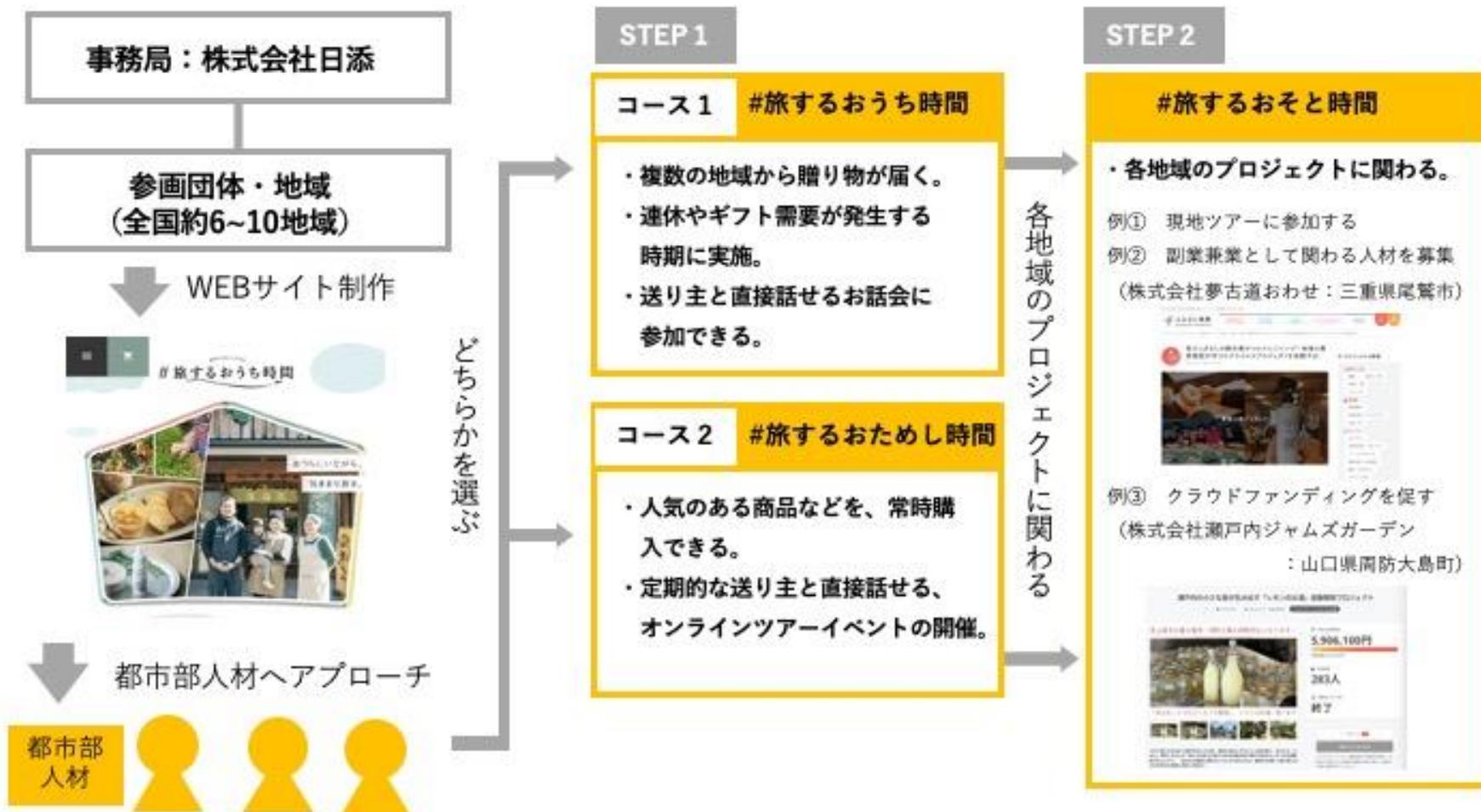
令和3年度「関係人口創出・拡大のための対流促進事業」

成果報告会資料

団体名：株式会社日添

1.事業概要・スキーム図

全国の複数地域から、「旅した気分になれるとっておきの商品」とライブ配信が届くサービスを顧客に提供。ライブ配信やオンラインイベントを通して地域の事業者のこだわりや想い、人柄に触れ、その後その地域のプロジェクトに関わることを目指す。



2.活動内容

「#旅するおためし時間」、「#旅するおうち時間」、「#旅するおそと時間」をそれぞれ実施した。

実施する中で、参加された方々に、この「#旅するおうち時間」の仕組みは**継続可能なものであるかどうか、また、収益化ができ、事業として継続できるものであるかどうかをヒアリングしながら進める**ことを意識した。

活動内容① #旅するお試し時間の実施

▼スケジュール

- 11月28日(日) 販売予約開始・広報！
- 12月19日(日) 申し込み締め切り
- 12月22日(水) 各自商品発送
- 12月25日(土) 商品到着
- 12月26日(日) お話し会・シンポジウム

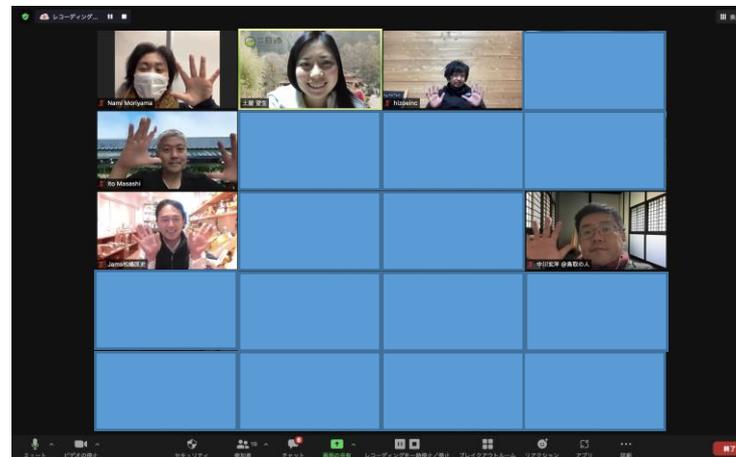
▼内容

過去に実施した#旅するおうち時間のように、6つの地域からその時自慢の美味しいものが届き、それを合わせる美味しい年越し鍋が作れるセットとして販売をした。

▼結果

お話し会には19名が参加した。

#旅するおうち時間を購入していただき、そこから今回の企画にも参加した方が複数人おり、関係人口の可能性をより強く感じた。



| 事業成果・KPI達成状況 | | |
|--------------|------|--------------------|
| | 項目 | 達成状況 |
| 1 | 参画地域 | 7地域予定 → 6地域で実施 |
| 2 | 購入数 | 70セット以上 → 138セット販売 |
| 3 | 参加者 | 20名以上 → 19名 |

#旅するおうち時間
が帰ってくる！？
12月26日(日)
20:00 - 21:30
オンライン開催

これからの地域との関わり方、
旅のあり方を、6地域から届いた
おいしいものを食べながら考える会議

6つの地域のキーパーソンと語る！

2.活動内容

活動内容② #旅するおためし時間の実施

▼スケジュール

2021年7月～12月の期間

▼実施内容

zoomにて#旅するおためし時間を実施した。
オンラインで60分程度顧客とつなぎ、五木村や参画地域の魅力や関わりしを伝えた。時折、地域のゲストを招き、対話をした。実際に参加した小客からは、「実際に行ってみたい」「ECサイトで引き続き商品を買ってみたいと思った」という声が上がった。

Zoomの写真がございすが、
一般公開は控えます。
内閣府への提出書類には添えます。

事業成果・KPI達成状況

| | 項目 | 達成状況 |
|---|------|-------------|
| 1 | 実施回数 | 5回以上 → 12回 |
| 2 | 参加者 | 20名以上 → 19名 |
| 3 | | |

活動内容③ #旅するおそと時間の実施

▼スケジュール

第1回：2022年11月23日～24日

第2回：2022年2月23日～25日

▼実施内容

1日目：五木村入り

2日目：松井製茶工場にてお茶の製造状況の見学・試飲

五木とうふ店にて豆腐づくりなどを見学

道の駅や温泉などを見学

村長と意見交換

村民との交流

3日目：その後の五木村との関わりを考えるワークショップ

▼結果

これまで関わってくれてたり、商品を買ってくれていた人ということもあり、「やっとこれだ」という感想が多かった。また、地域につくられているものの現場やプロセスを見ることによって、「今まででもとに届いていたものが自分の手元に届くまでの苦労やストーリーを感じられた。」という意見もあった。



事業成果・KPI達成状況

| | 項目 | 達成状況 |
|---|------|-------------------------------------|
| 1 | 参加人数 | 6名の参加予定 → 5名の参加 (コロナによりキャンセルが1件) |

2.活動内容

結果として見えてきたもの

地域の人と一緒に何かを取り組むことがあった方が、これからも関わりたくなってくるという意見が続出した。これは、関係人口そのものが「役になっている」という感覚をいかに作れるかということと、関係人口の元にもものが届くまでの「プロセス」や「現場」をいかにリアルに届けられるか、ということが重要であることが考えられる。

現状のままではなかなか難しい。集約された意見は下記の通り。

- ①通販は大手や他社が実行しているものが多く、商品として選ばれにくい。
- ②オンラインの企画が飽きられている節があり、「新しい楽しさ」を作らないと、事業化していくことが難しい。実際に会って時間を共有している間は地域に想いを寄せることができるが、

これから検討していかなくてはならないこと

- ①より、オフライン時のコンテンツを充実させていくこと
- ②オンライン化している時の関わりを面白くすること

全国にたよれる人が増えた→イネ。

#旅するジモト

コンテンツ

目的: 各地域の土地のファンを増やす。
各地域の土地とファンシェア

- 6つの地域のジモト自慢 (マニフ)
- 今日のホト-制度情報
- 王見地とのおしゃべり会
- ジモトの今 YouTube

(提供できる)
価値

おしゃべり、体験
地域の情報
オンラインツアー
ホト-制、土地のうまいもん

(求めている)
価値

人があい
うまいもの
王見
たのしみ
仲間あい
友だちがい
ジモト

サブスクリプション

目的: このサービスを続けるための手段

- ホト-製の産物
- 季節のうまいもん
- 福袋、おたのしみ袋

王見地への課金

- 王見地への体験
- 宿泊、火のついでい
- まつりの人材募集

積立
NFT

将来的には、メタバース空間を創出することを検討している。物理的に距離が離れていても、オンラインで活用できる通貨や空間で、いつでも現地を感じることができる空間とコミュニティの開発を目指す。

4.他地域への横展開の可能性の検討

| | |
|----|--|
| 項目 | 他地域が参画したくなるほどの収益と関係人口を創出できるか。 |
| | #旅するジモト完成版を公開し、収益の安定化を実現し次第他地域に声をかけていく |